

教育プログラムを構成する科目等

大 学 名 :	芝浦工業大学
教育プログラム名 :	技術の社会実装実践型留学生人材育成プログラム

① 日本語教育

授業科目名	学習内容、到達目標（日本語能力水準）等	正規/ 非正規	担当教員名 <small>未定の場合は未定と記載</small>	教員の所属機関 <small>未定の場合は決定時期の見込</small>	総学習時間
特別演習I,II,III(秋季のみ) 特別実験I,II,III(秋季のみ)	<p>【学習内容】</p> <p>指導教員による日本語による研究指導のもとで、研究計画の策定、研究関連論文の調査、指導教員や共同研究者、研究室学生との日本語での議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、グローバル社会で活躍できる研究者・技術者の育成を行います。</p> <p>【日本語能力の目安】</p> <p>日本語で研究指導を問題なく受けることができ、結果を論文としてまとめることができる。</p>	正規	指導教員	各専攻	180(春) 360(秋)
ビジネス日本語(BJT)セミナー 春	<p>【学習内容】</p> <p>仕事をする上で必要な日本語コミュニケーション能力を養成する3回シリーズのセミナー</p> <p>1. 【聴 解】情報を整理しながら聞き取り、伝えよう 2. 【聴読解】ビジネスの人間関係構築を行うためのコミュニケーション 3. 【読 解】異文化対応能とビジネス日本語コミュニケーション</p> <p>【日本語能力の目安】</p> <p>基礎的なビジネス日本語能力</p>	非正規	留学生就職支援コン ソーシアム SUCCESS	SUCCESS	6
ビジネス日本語(BJT)セミナー 秋	<p>【学習内容】</p> <p>仕事をする上で必要な日本語コミュニケーション能力を養成する3回シリーズのセミナー</p> <p>1. 【聴 解】自分の意見をしっかり提示するために～アサーティブスキルの重要性～ 2. 【聴読解】確認・質問する～報連相を上手に行うには～ 3. 【読 解】ビジネスの人間関係構築を行うためのコミュニケーション</p> <p>【日本語能力の目安】</p> <p>基礎的なビジネス日本語能力</p>	非正規	留学生就職支援コン ソーシアム SUCCESS	SUCCESS	6

※科目数に応じて、適宜追加してください。

大 学 名 :	芝浦工業大学
教育プログラム名 :	技術の社会実装実践型留学生人材育成プログラム

② キャリア教育

授業科目名	科目概要・目的、到達目標等	正規／ 非正規	担当教員名 未定の場合は未定と記載	教員の所属機関 未定の場合は決定時期の見込	総学習時間
SBMC(Shibaura Business Model Competition) SBMCコース	<p>概要： 芝浦ビジネスモデルコンペティション(SBMC)は、芝浦工業大学が主催する、学生による新たなビジネスモデルの考案とその実現を支援する企画です。</p> <p>目的： 本コンペティションは、アントレプレナーシップ（企業家精神）に富む次世代のイノベーションリーダーを育成し、起業の促進や新規事業の創出をはかること、それらを通して広く社会に貢献することをめざしています。</p> <p>スケジュール（参考 2024年） 6/29 ワークショップ(1)：アイデアがみるみるあふれ出すワークショップ アイデア創出の第一人者によるファシリテーションで、自分の中に眠っていたアイデアの泉が湧き出すような楽しいワークショップです。</p> <p>7/6 ワークショップ(2)：技術の社会実装 入門セミナー 自分の専門分野や研究室の「技術」をいかに事業化するかを現役のコンサルタントから学びます。</p> <p>7/18 ワークショップ(3)：SNSマーケティングに挑戦しよう！ X、Instagram、LINEなどSNSを使ったマーケティングの事例や技術を学びながら、自らもマーケティング企画に挑戦します。</p> <p>8/1,2 ワークショップ(4)：ビジネスモデルキャンパスワークショップ 世界で定番化している「ビジネスモデルキャンパス」を使ってビジネス構築に必要な要素をビジネスモデル創出の第一人者とともに学ぶ2日間のワークショップです。</p> <p>上記ワークショップの他、対面説明会、オンライン説明会、ビジネスモデルの考え方や応募までのプロセスなどを説明するレクチャーなども実施しています。</p> <p>8/29 応募締め切り</p> <p>9/15 セミファイナル（オンラインピッチによる選考） セミファイナル通過者には、ピッチスライドの作成レクチャーや、ピッチトレーニングの機会が提供されます。</p> <p>9/29 ファイナルステージ 選出されたファイナリスト（第9回は8組）がファイナルステージでピッチを行い、スポンサー企業や有識者による厳正な審査の結果、各賞が決定します。</p> <p>10/12, 22, 25 入賞者向けのフォローアップワークショップ（プロトタイプینگ道場、ビジネスモデルブラッシュアップ）や個別メンタリングの機会があります。</p> <p>次年度以降も、基本的な趣旨と流れを踏襲しつつ、具体的な内容や活動については参加学生の希望や社会環境の変化に応じて詳細を決定し実行します。</p> <p>公式ウェブサイト：https://sbmc.shibaura-it.ac.jp/</p>	非正規	長谷川 豊	教育イノベーション推進センター	20 ワークショップと各ステージのピッチ時間のみ積算
イノベーション・マネジメント論 SBMCコース	<p>【科目概要・目的】 イノベーションとは商品やサービスの提供を通じて新しい価値を提供し、世の中に変化をもたらすことを言います。技術進化が加速し、社会課題も山積する中で、エンジニアに求められるのは、技術の提供にとどまらず、社会課題の創造的解決や新事業・新産業の創出です。本授業では、イノベーションの理論やフレームワークを学ぶとともに、多くの演習を通して起業家・企業家精神（アントレプレナーシップ）とイノベーション創出のスキルを身につけます。また、履修者はチームを作り芝浦ビジネスモデルコンペティション（SBMC）にビジネスモデルを提案する経験を通して実践的能力を身につけます。イノベーションに関する基本的知識と方法論を習得し、現実のビジネスや社会課題の解決に応用できる実践的能力とそれらに取り組む姿勢・行動力を身につけることを目的とします。</p> <p>【到達目標】 1. イノベーションの概念やプロセスを自らの言葉で説明できる（基礎的理解） 2. 変化を恐れず、失敗から学び、挑戦し続ける精神と行動能力を獲得する（アントレプレナーシップ） 3. 顧客と課題の特定や解決策の提案、仮説・検証のプロセスをまわすことができる（イノベーションスキル） 4. 新たなビジネスモデルを考案し芝浦ビジネスモデルコンペティションに提案できる</p> <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/146124.html</p>	正規	長谷川 豊	教育イノベーション推進センター	90
Management of Innovation SBMCコース	<p>【科目概要・目的】 With social change accelerating and economic disparities widening, there has never been a time when innovation was required as much as it is now. This lecture will be based on learning the definition of innovation, history and typical theories and frameworks, and will focus on learning and exercises that will lead to application to the real world. The purpose is to acquire basic knowledge and methodologies related to innovation and to acquire the ability to apply it to the solution of real-life business and social issues.</p> <p>【到達目標】 1. Understand the concept and process of innovation and explain it to others in your own words. 2. Research and analyze existing market and products, which lead to strategies that give you a competitive advantage or new business development. 3. Generate and organize new ideas to develop a business model and build a new business strategy.</p> <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/146121.html?y=2024&g=900</p>	正規	長谷川 豊	教育イノベーション推進センター	90

大 学 名 :	芝浦工業大学				
教育プログラム名 :	技術の社会実装実践型留学生人材育成プログラム				
Bussiness Model(BM) brush up 講座 SBMCコース	<p>【科目概要・目的】 本講義は、Management of Innovationもしくはイノベーション・マネジメント論で提案したビジネスモデルを講師とのアドバイスを話し、さらにブラッシュアップさせる集中講座である。集中講座の最後では、ブラッシュアップしたビジネスモデルで再度ピッチを実施し、SBMCの書類審査通過とセミファイナル、ファイナルステージへの進出を目指す。</p> <p>【到達目標】 1. 授業で提案したビジネスモデルをSBMCの書類審査を通過できる内容までブラッシュアップできる。 2. 提案したビジネスモデルの意義やその価値を端的にピッチで説明できる。</p>	非正規	長谷川 豊	教育イノベーション推進センター	14
生産マネジメント特論 MOTコース	<p>【科目概要・目的】 企業や社会では様々な問題の解決や難しい目標の達成が求められる。これらの問題解決や目標達成に生産マネジメントは欠かせません。本講座では、サプライチェーンマネジメントなど、どの産業、どの国でも有効な生産マネジメントの方法論や成功・失敗事例を紹介します。従来の製造業に限らず、製造業のサービス化、デジタルトランスフォーメーション、サービス産業の生産性向上についても紹介します。PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)を通じて、ビジネスや研究における生きたプロダクションマネジメントを具体的に理解します。企業や社会に生産マネジメントがどのような効果をもたらすのか、実施上どのような留意が必要かについて体験的に学び、様々な企業や組織で生産マネジメントに取り組むためのスキルを向上させます。企業や社会で、生産マネジメントの実施により問題解決や目標達成を牽引するリーダーとなるためのトレーニングを通じ、即戦力を身に付けることができます。さらに、口頭発表および自律的な学習習慣のスキルの獲得も目指します。</p> <p>【到達目標】 1. 生産マネジメントについて、参考文献および具体的な事例に基づいて説明できる。 2. 生産マネジメントに関する方法を3つ以上習得し、自ら実施できる。 3. 生産マネジメントの短所を留意し長所をいかし、身近な問題の解決のために実践することができる。</p> <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/146112.html</p>	正規	平田 貞代	国際理工学専攻	90
ビジネスエスノグラフィ MOTコース	<p>【科目概要・目的】 本講座では、文化人類学における調査・分析方法であるエスノグラフィを応用し、社会や企業における問題発見およびその解決に役立てるため、比較的短時間で簡易に実施可能なビジネス・エスノグラフィを体験的に修得する。専門知識や高度な技術を人間の抱える問題の解決に役立てることが最終的なゴールである。一方、人間には作り手、買い手、使い手等、様々な立場や嗜好があり、問題の認識が異なったり、要求を正確に言えなかったりする。したがって、冰山の一角のように限られた或いは偏った情報から全体構造を捉えて、問題の優先順位や最適解を導き出す必要がある。ビジネス・エスノグラフィは、建設後の利用者の満足や不満の予測、国内の売れ筋製品を文化の異なる海外市場向けにカスタマイズ、情報システムのユーザビリティ、組織改善等にも応用されている。多くの調査・分析方法は仮説検証型であるが、ビジネス・エスノグラフィは仮説が未だない、または、仮説を立てることが難しい問題を発見するための珍しい方法の一つである。講義毎に実習を通じて観察、聞き取り、書き取りのトレーニングを繰り返し、産学連携により大学近隣の店舗や工場等の現場へ出向く。人により異なる主観的なバイアスと、バイアスを外す客観性との両方を組合せ、見ているようで見逃している問題を可視化し、根本原因の洞察力の強化をめざす。</p> <p>【到達目標】 1. エスノグラフィとビジネス・エスノグラフィを使い分けることにより、産業やビジネスに潜在する問題を発見することができる。 2. インタビューとエスノメソドロジーにおける聞き取りの違いを理解し、問題解決に必要な本質的な情報の収集を実践できる。 3. ビジネス・エスノグラフィ、または、デザイン思考を活用し、製造業のサービス化や新製品・新サービス開発の核となる新たな価値を共創することができる。 4. プレゼンテーションやディスカッションを通じて表現力、説得力を身につけることができる。</p> <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/145839.html</p>	正規	平田 貞代	国際理工学専攻	90
マーケティング特論 MOTコース	<p>【科目概要・目的】 マーケティングの本質は顧客(相手)に価値を届けることであり、広告宣伝やキャンペーンはその一部でしかありません。したがってマーケティングは専門部署が担当する仕事に限定されるものではなく、企業活動全般はもちろん、あらゆる組織や個人の行動計画や戦略策定に欠かせない普遍的な活動と言っても過言ではありません。本授業では、基本的なマーケティングの概念やプロセスから最新のデジタルマーケティングまで幅広く学習し、また多くの演習を通して、実務能力の基礎を養います。 マーケティングの基本的な概念と方法論を理解し、実社会における応用が可能になることを目的とします。価値を創造し届けるというマーケティングの本質から考えると、マーケティングを学ぶことは研究や就活、キャリア選択においても重要な知識とマインドセットを獲得することにつながります。</p> <p>【到達目標】 1. マーケティングとはなにかを自分の言葉で説明できるようになる 2. マーケティングの様々な手法や特徴を理解し、目的に応じて的確に企画提案ができるようになる 3. 作成したマーケティングプランを論理的に、説得力を持って説明できる</p> <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/146110.html</p>	正規	長谷川 豊	教育イノベーション推進センター	90

大 学 名 :	芝浦工業大学				
教育プログラム名 :	技術の社会実装実践型留学生人材育成プログラム				
経営学特論～人と組織のマネジメント～ MOTコース	<p>【科目概要・目的】 第1回講義から、グループワークやディスカッション、確認テスト等を行いな がら講義を進めます。また、本講義に向き合う意識についてもお話します。講 義は、a) 経営学と呼ばれる分野を俯瞰する、b) 組織のマネジメントについて 理解を深める（例：計画・戦略、組織、人的資源管理、コントロール等）、c) 人々や組織を効果的に経営するために必要な特定の知識、スキル、能力を育成 する。履修生は、これらのゴールに到達するための諸理論、研究、政策、実践 を学びます。このコースでは、実践的な理論や研究の適用と批判的思考スキル の開発と適用が重視されます。100分×2=200分で構成され、前半は講義形式、 後半はグループやペアによる演習やアクティビティ形式とし、できるだけ能動 的な学びの時間を作り上げる予定です。また、いくつかの週では、ゲストス ピーカーをお招きし、ゲストの専門分野に関する企業戦略、イノベーション、 リーダーシップ等についてお話いただく予定です。本講義の目的は、以下の3つ です。</p> <p>a) 経営管理の分野の概要を提供する：本講義では、経営管理に関連する様々 な理論、概念、歴史的な観点について紹介、経営理論の進化、この分野の主要 な人物、そして経営管理の主要な動向と発展について学ぶ。</p> <p>b) 組織における経営管理の理解を深める：経営管理の5つの基本的な機能であ る計画、組織、人員配置、指導、およびコントロールについて、実際の現場で どのように適用されるかを学び、リーダーシップ、モチベーション、コミュニ ケーション、意思決定、問題解決などのトピックについても紹介する。</p> <p>c) 人や組織を効果的に管理するために必要な具体的な知識、スキル、能力の 育成する：経営管理の概念やスキルの実践的な応用に焦点を当て、チーム、プ ロジェクト、およびオペレーションを管理するためのベストプラクティスや、 効果的なコミュニケーション、紛争解決、パフォーマンス管理の戦略について 学ぶ。</p> <p>【到達目標】 ・このコースで紹介された枠組みや概念を用いて、問題や課題に対して解決策 を見つけることができるようになる ・自身の専攻分野で見つかった問題や課題に、本講義で紹介する理論や枠組み を使用し、適用できるようになる ・本講義で紹介されたフレームワークや概念を用いて、問題や課題の解決策を 見つけることができるようになる</p> <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/145817.html</p>	正規	加藤 恭子	デザイン工学科	90
Global Engineering Management MOTコース	<p>【科目概要・目的】 本講義は、様々な分野の技術者や企業経営者から最新の技術に関する特別講義 を受け、その分野の開発手法や技術的な経営の戦略を学ぶとともに、技術の進 展により社会がどのような発展を遂げていくのかを学ぶ。また、質疑応答やプ レゼンおよび討論を実施することで技術戦略や開発手法への理解を深める。な お、授業はZoomを使ってオンラインで行う。また、このコースの主な焦点は技 術であり、ビジネスではないので履修の際は注意して欲しい。</p> <p>本講義では、様々な分野の技術者や経営者からの特別講義および学生間での討 論を通じて、履修学生が幅広い知識を得るとともに、技術分野や企業により 様々な技術的な経営判断があることを知ることを目的とする。</p> <p>【到達目標】 1. 学生は、企業における技術開発の手法の例を説明することができるように なる 2. 学生は、企業における技術や経営の戦略の例を説明することができるように なる 3. 学生は、履修学生間及び特別講師や担当教員との意見交換により様々な考え 方があることを学ぶことができる</p> <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/145943.html?y=2024&g=900</p>	正規	坂井 直道	材料工学専攻	90
Intensive Workshop MOTコース	<p>【科目概要・目的】 本授業では、履修学生自身が興味のある研究分野や実施中の研究内容およびそ の研究が社会にどのように貢献するかについて、異分野の方にも分かるような 発表を試みる。これらの内容を発表後に、クラスの学生同士で質疑応答及び討 論を実施する。また、最先端の技術について、その道の権威である技術者から 特別講義をして頂き、質疑応答及び討論を実施して、最新技術や「プレゼン技 術を学ぶ。なお、授業は主にZoomを使ってオンラインで行う。</p> <p>ただし、11月1日の午後に学外実習を行う。11月1日はSIT学生祭りの準備日で 通常の授業は無い。実習は東京海洋大学の練習船汐路丸（長さ60m位）に乗船 し、船舶の構造を学ぶとともに、海側から海事交通や港湾（湾岸）での企業活 動を見学する。11月1日の午後に学外実習に参加することが授業履修の条件と する。</p> <p>本授業では、自分とは異なる分野の技術やそれが持つ課題等を理解すると共 に、どのように社会に貢献するかを議論を通じて理解を深める。</p> <p>【到達目標】 1. 自身の研究内容を異分野の学生に対して理解してもらえる発表が出来るよ うになる 2. 自身の研究が社会にどのように貢献するかを説明できる 3. 最新の技術やプロフェッショナルな技術者のプレゼン技術について説明でき る</p> <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/145959.html?y=2024&g=900</p>	正規	坂井 直道	材料工学専攻	90

大 学 名 :	芝浦工業大学				
教育プログラム名 :	技術の社会実装実践型留学生人材育成プログラム				
International Marketing MOTコース	<p>【科目概要・目的】</p> <p>Marketing is one of the most important concepts in understanding the modern business. It is an indispensable element for business planning and strategy formulation of all organizations and individuals as well as corporate activities.</p> <p>Today's technological and societal changes are pushing engineers to acquire not only technical skills but also marketing knowledge. Therefore, in this course, not only will you learn a wide range of topics from basic marketing knowledge to the latest digital marketing, but you will also be able to acquire practical skills to define and solve today's problem.</p> <p>Understand the basic theories and frameworks of marketing so that they can be applied in the real world.</p> <p>Rather than reading textbooks, we will actively learn how we can apply those to the real business.</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Understand marketing concepts and basic theories and communicate them in your own words. 2. Leverage frameworks and tools to analyze markets and competitions. 3. Can formulate and propose an appropriate marketing plan according to the situation. <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/146058.html?y=2024&g=900</p>	正規	長谷川 豊	教育イノベーション推進センター	90
International Production Management MOTコース	<p>【科目概要・目的】</p> <p>本講座では、多様な産業や企業において取り組まれているプロダクションマネジメントについて、豊富な事例と共に扱います。本授業では、生産マネジメントの中でも産業や国などにかかわらず重要な、改善、標準化、プロジェクトマネジメントに基づく協働を自然に体験する機会を提供します。アクティブラーニングを通じて、ビジネスや研究における生きた生産マネジメントを具体的に理解します。</p> <p>企業や社会にプロダクションマネジメントがどのような効果をもたらすのかについて体験的に学習します。企業や社会で、プロダクションマネジメントの実施により問題解決や目標達成を促すマネージャーとなるためのトレーニングを通じ、即戦力を身に着けます。さらに、プロジェクトマネジメント国際資格の取得の準備相当の知識も得ることができます。組織改革や経営人材育成のスキルの獲得も目指します。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロダクションマネジメントについて複数の業界の例に基づいて説明できる。 2. プロダクションマネジメントに関する方法を3つ以上理解し、自ら実施できる。 3. プロダクションマネジメントの長所をいかし短所に留意し、身近な組織変革やイノベティブ人材育成のために実践することができる。 <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/146113.html?y=2024&g=900</p>	正規	平田 貞代	国際理工学専攻	90
Management of Innovation MOTコース	<p>【科目概要・目的】</p> <p>With social change accelerating and economic disparities widening, there has never been a time when innovation was required as much as it is now.</p> <p>This lecture will be based on learning the definition of innovation, history and typical theories and frameworks, and will focus on learning and exercises that will lead to application to the real world.</p> <p>The purpose is to acquire basic knowledge and methodologies related to innovation and to acquire the ability to apply it to the solution of real-life business and social issues.</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Understand the concept and process of innovation and explain it to others in your own words. 2. Research and analyze existing market and products, which lead to strategies that give you a competitive advantage or new business development. 3. Generate and organize new ideas to develop a business model and build a new business strategy. <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/146121.html?y=2024&g=900</p>	正規	長谷川 豊	教育イノベーション推進センター	90

※科目数に応じて、適宜追加してください。

大 学 名：	芝浦工業大学
教育プログラム名：	技術の社会実装実践型留学生人材育成プログラム

③ インターンシップ

授業科目名	科目概要・目的、到達目標、事前・事後指導等	正規／ 非正規	担当教員名 未定の場合は未定と記載	教員の所属機関 未定の場合は決定時期の見込	実施期間
事前指導	<p>【科目概要・目的】</p> <p>インターンシップへの参加にあたり、日本の企業・組織文化や働き方、マナーやキャリアパスの仕組みを理解し、自分が自身の専門性をどのように生かし、日本で就労ことについての意義を考える。その上で、インターンシップ参加の目的を設定し、実習計画を立案、それを履修者で共有することにより、インターンシップに主体的に参加できる土壌を整える。また、実際に日本で就労した留学生を招き、これまでの就労における体験を共有することで、インターンシップ参加時の就業イメージを明確にする。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の企業・組織文化や働き方、マナー、キャリアパスの仕組みを理解する 2. 日本で就労することの意義を理解し、参加の目的を設定する。 3. インターンシップに主体的に参加できる土壌を整える。 	非正規	キャリアサポート課 課員 キャリアコンサルタント	キャリアサポート課	4
事後指導	<p>【科目概要・目的】</p> <p>インターンシップ参加時の職場体験記録をまとめ、報告書を作成し、自身の経験を振り返るとともに、それを企業に提出、フィードバックを得る。さらにその結果をプレゼンテーション資料にまとめ、発表会にて発表、他の履修者の経験も踏まえて、日本での就労について討議し、今後の就職活動に生かす。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシップ参加時の体験をまとめ、報告書を作成し、それを企業に提出、フィードバックを得る。 2. インターンシップでの経験や得られたことをプレゼンテーション資料にまとめ、発表する。 3. 他者の意見や経験も踏まえて、日本での就労について考え、今後の学修計画の立案に生かす。 	非正規	キャリアサポート課 課員 キャリアコンサルタント	キャリアサポート課	4
実践インターンシップ1・2	<p>【科目概要・目的】</p> <p>国内の企業や研究機関などにおいて、2週間以上の実践的なインターンシップを実施する。国内の企業や研究機関などにおいて実践的なインターンシップを実施し、先端的な研究プロジェクトや実践的な業務を体験し、自らの専門性やスキルが実務でどう役に立つか体感し、チームでプロジェクトを進める実践力を養成する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先端的な研究プロジェクトや実践的な業務を体験できる 2. 自らの専門性やスキルが実務でどう役に立つか体感できる 3. チームでプロジェクトを進める実践力を養成できる <p>http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2024/din/147589.html</p>	正規	長谷川 忠大	理工学研究科	2週間以上

※科目数に応じて、適宜追加してください。